

昨年四月から顧問として紫友会のお手伝いをさせていただいております栗山と申します。現在、現代社会学部で現代社会が抱える様々な問題について学生たちと考えを交わっています。

顧問就任を打診されてから、改めて筑女との縁を振り返ってみたいですが、その関係の深さに我ながら驚いたことでした。私事になりますが、二十年以上前には高校の方で日本史と世界史を教えておりました。また、現在弟は高校の教員をしております。祖父は高校で英語の教員をしておりました。父も産休の先生の替わりに英語を教えていたと聞いています。加えて祖母、長女は筑女の卒業生で、孫たちは幼稚園でお世話になっています。さらに私は祇園町にある寺院の住職を兼務しているのですが、筑女を卒業なさった二門徒は数え切れません。寺と大学の仕事が多忙な時も、筑女の仕事なら仕方ないと、何度お許しをいただいたことでしょうか。私などが顧問に、とま



筑紫女学園大学
現代社会学部教授
紫友会顧問 栗山 俊之

紫友会という縁

平成の御世が終わり新元号になっていることでしょうか。原稿を書いている現在は新元号が何か皆目見当もかすワクワドキドキ！

新元号元年

・現代社会学部 現代社会学科から初の卒業生
・文学部アジア文化学科創設二十周年
・大学院に臨床心理学コース新設
・それに付随して昨年十月、臨床心理学実習施設である「筑紫女学園大学臨床心理センター」が開設されました。



筑紫女学園大学 同窓会
紫友会会長 石川 昭子

会員の皆様、こんにちは



題字 本学園元顧問
故 干潟 龍祥先生書



紫友会事務局

〒818-0192
太宰府市石坂2丁目12-1
筑紫女学園大学内
飛翔会館2F
TEL&FAX (092-929-4603)
〔月～金 10：00～16：00〕
印刷(有)森田印刷所

ず考えのすが大変、縁の深い私です。で、恩返しと思って引き受けさせていただきました。皆さまどうぞ宜しくお願い申し上げます。

前置きが長くなりましたが、まず紙幅を借りて、皆さまにお礼を申し上げたいと思います。東日本大震災以来、熊本地震や北部九州豪雨など、被災地を訪れ、様々な活動を行ってまいりましたが、紫友会から、また卒業生個人として多くの方々から多額の支援金を頂戴致しました。誠にありがとうございました。おかげさまで、学生たち自身大きく成長してくれました。学生たちは被災者とボランティアという枠を超え、人と人とが繋がり合い、支え合うという本来の人間関係を築いてくれました。筑女の活動は、被災地の方々はもちろん、現地の行政やNPOなどから非常に高い評価を受けています。この日か、紫友会の皆さまと被災地を巡って学生たちが創ってくれた縁の跡を訪ねて歩くことができれば、なども思っています。

筆を進めながら、今更ながら、縁の大切さを感じます。よく、現代社会から血縁、地縁、社縁といふこれまでの社会を支えてきた、縁が失われていると言われます。であれば、新たな縁の場を築いていかなければなりません。筑女が被災地で、そして紫友会が縁の場となるよう微力ですが、したいと思っています。

最後になりましたが、この文章を読んだきた私の講義を受けた事のある皆さん、同窓会総会でお会いしませんか。縁の場にしましょう。お待ちしております。

第52回紫友会総会御案内

日時／**6月8日(土) 15:00～18:30**
【受付開始時間14:30～】

場所／**ホテルオークラ福岡 (平安の間)**
福岡市博多区下川端3-2 TEL.092-262-1111

会費／**5,000円 新卒会員1,000円**

第一部／**総会 15:00～15:30**
会計報告・事業報告・その他

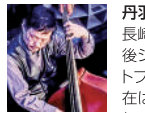
第二部／**懇親会 ジャズコンサート&お食事 16:00～18:30**



松浦真寿美(ボーカリスト ソングライター)
福岡県出身。大阪大学在学中よりビッグバンドで歌い始める。2005年より国内外のさまざまなイベントに参加しサードアルバムまで発表。2015年にはトヨタカラー福岡とFM福岡のコラボ企画「Key 10Music」ドライブビッグミュージックCDオーディションにてオリジナル曲「Night Drive」が選出され、のち、選出曲10曲による人気投票にて2位に選ばれる。2014年より現在まで西中洲ピアノバー「ステラ」にて月曜から土曜まで毎日ピアノ弾き語りをこなすなど、精力的に活動中。



山野修作/Guitar
福岡市出身15歳から独学でギターを始める。NYにて3枚のアルバムを制作し、2009年に以降定期的にNYからメンバーを招きツアーを行う。国内外多数の有名ミュージシャンらと共演歴を持ち、ジャズギター専門誌でもインタビューを掲載されるなど高く評価される。



丹羽肇/Bass
長崎県出身。幼少時よりピアノ、チューバ、バストロンボーンを演奏する。その後ジャズを志しベースに転向。1992年にはNHKのコンテストで優勝し、ベストプレイヤー賞を受賞。国内外でのフェスティバルやラジオ番組等に出演。現在九州、東京、大阪等でのライブ活動や多くのCDのレコーディングにも参加。福岡スクールオブミュージック専門学校、活水女子大学音楽学部などで後進の指導にもあたっている。

出席予定の先生方 (敬称略)	2月末現在の出席予定
理事長 仙山 眞乗	学 長 中川 正法
副学長 渡辺 守雄	副学長 荒巻 龍也
文学部長 緒方 隆文	人間科学部長 池田 和彦
常務理事 天野 義則	事務局長 西村 慎一
事務長 平井 和宏	
現教員 D.J.Wood	浅田 淳一 大西 良
藤原 隆信	速水 良晃 栗山 俊之
篠崎 真美	
旧教員 名本 幹雄	石橋美恵子 小山 一行
山之内輝美	魯 相學 小川 直樹

＊今回当番幹事は短大32回生、大学文学部7、27、28回生、大学人間科学部4、5回生、大学現代社会学部1回生、大学院10、11回生です。
＊当日お車で越しの方は、ホテル駐車場をご利用ください。

●締切日(5/15)以降の申し込みおよび変更は紫友会迄
(TEL&FAX092-929-4603)
会場の都合がありますので、事前のお申込をお願い致します。出席申込を頂いた方で当日連絡なく欠席の場合は、恐れ入りますが後日紫友会宛に会費をお振込み下さい。

■振込先

金融機関：ゆうちょ銀行	預金種目：当座預金
店 名：一七九(イチナナキユウ)	口座番号：0044769
店 番：179	口座名義：筑紫女学園大学同窓会紫友会

紫友会事務局だより

第51回紫友会総会報告

第51回紫友会総会は平成30年6月9日(土)筑紫女学園大学「飛翔会館」に於いて盛大に開催されました。当日は、晴天に恵まれ、たくさんのお客生や同窓教員の皆様にご参集頂きました。

第一部の総会では、平成29年度活動報告と会計報告、平成30年度活動計画と予算が承認されました。また、今年も在学生支援として「国内災害復興支援ボランティア」と「ネパール大地震復興教育支援プロジェクト」の2団体に、ボランティア活動に対する支援金を贈呈致しました。



第51回総会 集合写真

第二部は筑紫女学園大学フィルハーモニー管弦楽団による演奏会。学生とOGによる素敵

な演奏会となりました。そして演奏会の最後には会場全員で、生演奏による校歌斉唱をしました。



生演奏の様子

第三部は恒例の懇親パーティ。なつかしい先生、同窓生との楽しい時を過ごしました。今年は、会場の一面で「ネパール大地震復興教育支援プロジェクト」によるネパールの物品販売コーナーを設け、エコバックやアクセサリなど参加者に購入のご協力を頂きました。売上金は全て今後のボランティア活動に充てられます。

来年もたくさんのお客生が笑顔で再会出来ることを願いながら第51回の紫友会総会は盛会にて終了しました。



贈呈式

【筑紫女学園報】送付について

学園全体(幼稚園～大学)の様子をお伝えしている学園発行の学園報を希望される方にお配りします。角2封筒(33×24cm位)に送付先の郵便番号・住所・お名前をご記入の上、250円切手を貼り紫友会事務局までご送付下さい。最新号をお送り致します。又は学園ホームページでもご覧頂けます。

<http://www.chikushi.ac.jp/gakuenhou/>

役員紹介 (平成30年度)

会 長	石川 昭子	短・家政 2
副 会 長	伊佐 元子	短・家政 1
〃	一矢 直子	短・英文 31
会 計	仲野 抄子	短・国文 2、文・日文 21
〃	廣渡 香奈子	短・国文 21
書 記	酒井 由美子	文・心理 15
常任幹事	加藤 千代	短・家政 2
〃	森山 クミ子	短・家政 2
〃	阿部 美樹	短・家政 30
〃	土谷 裕紀子	文・英語 23
〃	矢幡 聡子	短・家政 24
〃	安田 香織	短・家政 20
会計監査	藤尾 知子	短・家政 13
〃	鈴木 萌子	文・メディア 24

お 願 い

卒業時の住所データ及び返信葉書に書かれた住所が会報誌『紫友』発送の資料となります。個人情報同窓会活動以外では使用致しません。『紫友』が届かない方には、事務局までお知らせ頂きますようお願い致します。

なお、名簿の管理には充分慎重を期しております。紫友会事務局以外から同窓生へ連絡することはありません。



同窓会をしませんか

総会に併せて、クラス会やサークルのOG会、ゼミ同期会などを開きませんか？紙面を利用しての呼びかけや、案内状発送のお手伝いなど致します。ご活用頂き、会員相互の親睦が深まることを期待しています。ご希望がありましたら、ぜひ事務局までご相談ください。

当番幹事について

2020年、第53回紫友会総会の当番幹事は下記の方々です。

○1999年卒 短大33回生
大学8回生

○2019年卒 大学文学部28回生
〃 人間科学部5回生
〃 現代社会学部1回生
大学院11回生

○2020年卒 新卒幹事

事務局よりご案内のハガキを送付致しますので幹事会にご出席頂きますようお願い致します。



今号のテーマである「あの時(学生時代)、夢中になっていた」。

学生時代、憧れたもの。なつかしく思い出された方も多いのではないのでしょうか。もしかしら、今現在の皆様の原点になったものであったかもしれません。また夢中になれるものを探されてみませんか。

さて、今年も六月にホテルオークラ福岡にて総会を開催いたします。演奏会にお越し頂くシャマシガの松浦真寿美様はお母さまが短期大学の卒業生でいらした。縁のある方です。先生方やご友人の皆様との素敵な時間をより華やかにお過ごし頂けることでしょうか。会員の皆様のお越しをお待ちしております。

この会報には、100%再生紙と大豆天然インキを使用しています。

あの時、ダンスに夢中になった

■短期大学・英文科
二十四回生(九〇年卒) 小川 洋子



入学して吹奏楽をするつもりが、友人に「どうしても一緒にきて」と嘆願され行ってみると、『民族舞踊研究部』という怪しい(失礼!)部室。知らない間に練習着を着せられ、気が付いたら輪の中に入って踊っていました。そこには筑女にいないはずのない、同世代の男子大学生、パートナー校の九州大学と福岡女子大学のメンバーでした。かくしてその友人は残念ながら二年で退部してしまいましたが、私はそのま

絶えることなき

「筑女の教え」に

■短期大学・幼児教育学科
十三回生(九七年卒) 三隅 時子(岡本)



短大幼児教育学科を卒業して四十二年が経ちました。卒業後、幼稚園へ勤め、その後結婚。二十年、関東で過ごしました。その間、全く途絶えていた筑女との「縁」でしたが、再び九州へ戻り、今の職場で出会った幼教の後輩の誘いで、紫友会総会にも参加させて頂くようになりました。大変お世話になった先生方や、懐かしい方々との再



学部・学科一覧

文学部

日本語・日本文学科
英語学科
アジア文化学科

人間科学部 人間科学科

○心理・社会福祉専攻
発達臨床心理コース
社会福祉コース
○初等教育・保育専攻
初等教育コース
幼児保育コース

現代社会学部 現代社会学科

●入試に関するお問い合わせ先

入試・広報班 TEL092(925)3591

十九年前の夢中になった時間

■短期大学・家政科
二十四回生(〇〇年卒) 廣瀬 豊子(大串)



現在、私は福岡県内の特別支援学校中学部で、家庭科の教師として働いています。

特別支援学校では、家庭科の事を「職業家庭」と呼びます。私は、この教科を生徒が「自分らしく」自立し、生活していくために知識や技能を身に付ける学習と捉え、日々の指導にあたっています。

私の学生時代は、就職氷河期と言われており、何かのお守りにな

GOGO!!同窓会

秋晴れの平成30年11月3日福岡市にて幼教18回生55歳同窓会を開催致しました。手作りのウエルカムボードで32名の同級生をお出迎え。学生時代の思い出や近況報告等々...話しに花を咲かせました。



筑紫女学園大学附属幼稚園 新園舎落成

附属幼稚園園舎が新たに建て替えられました。たくさんの子ども達の笑顔が溢れ、かわいい歌声がますます聞こえてくるような素晴らしい園舎になりました。



紫友38号“こんにちは”の原稿を募集します。

次号のテーマは「今につながるもの。そしてこれから」を予定しています。原稿は400字程度。また、皆様の近況や思い出等お寄せ下さい。(写真やイラストも可)寄せられた原稿は原則として、返却しません。紙面都合上、全てを掲載できない場合もありますので、ご了承下さい。(〆切2019年12月末日)

在学生支援 ～紫友会学生支援奨学金・奨励金授与～

平成18年度に紫友会学生支援奨学金・奨励金制度が発足されて以来、奨学金は延べ34名の学生に、奨励金は延べ31件の団体に授与することができました。これもひとえ



平成30年6月(前期)
前列「バレーボール部」代表



平成30年11月(後期)
「MSG」代表

に皆様からのご協力の賜物と感謝申し上げます。なお、平成30年度は、奨学金を4名に、奨励金を「バレーボール部」、「MSG(ミューチュアルサポートグループ)」「聴覚障がい学生、肢体不自由学生へのサポート団体」の2団体に授与いたしました。今後も在学生支援の一環として学生支援奨学金・奨励金制度で支援を必要とする学生に援助が出来ればと願っております。

平成30年6月及び11月に紫友会奨励金の授与式が紫友会室にて執り行われました。

この奨励金はクラブ、サークル活動、ボランティア活動など自主的な活動において高い目標、計画を持ち積極的に活動、実現している団体、個人を援助することを目的としています。

協力費及び奨学金・奨励金基金への
ご協力をお願い

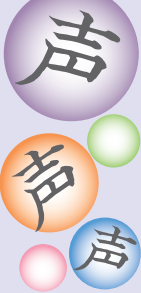
紫友会では、協力費(同窓会活動運営費)及び奨学金・奨励金基金(在学生支援の一環)への協力金として、1口1,000円(何口でも可)をお願いしております。これらは同窓会としての安定した会の運営や在学生支援の為に大いに活用されております。ぜひとも皆様方のお力添えを賜りたく、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

協力金は次の2通りの方法で随時受け付けております。

奨学金を授給して

人間科学部 人間科学科
三回生(二〇一七年卒)

この度は奨学金を頂き、ありがとうございます。母家庭で育った私は幼い頃から家計の負担にはならない様に考えてきましたが、どうしても大学に進学したく、日本学生支援機構の奨学金を頼りに進学しました。しかし、奨学金返還総額を考えると、自分が働いて返していけるのか不安になり、進学したことが家計のご迷惑となさることも度々ありました。私が四年生となり本格的に実習や採用試験が始まりアルバイトをするのができなくなると、親の負担がさらに増え悩んでいた時に、紫友会の奨学金のお話を頂きました。奨学金の返還義務がなく聞き、日本学生支援機構で多くの奨学金を借りていた私にとってはとても嬉しいことでした。奨学金のお陰で学費を全払うことが出来ました。あとは私が返還義務のある奨学金を少しずつ返していきたいと思います。無事卒業できそうです。ありがとうございます。今後多くの学生が紫友会の奨学金で幸せな学生生活が送れることを願います。



◆母校の会報に載せていただきありがとうございます。おかげで長年音信不通だった友人から連絡がありました。ご縁をいただけて嬉しく思います
大学日本語日本文学科二回生(九九年卒)

◆紫友を拝見し、同級生が大病を患いながらも、病気に負けずに、他の人のために尽くされていることを知り、その生き方にとても勇気を頂きました。自分の不遇にはばかりにいられて「感恩」の気持ちを忘れていたことに気付かされました。
大学日本語日本文学科二回生(九九年卒)

◆紫友を今年も手にすることができ、ふるさとの便りのようで有難く思います。
大学日本語日本文学科十八回生(〇九年卒)

◆保育園で三年目、保育士として様々な経験を積ませていただいております。後輩も出来、少しずつも出来ましたが、課題も新たに目につくようになり、忙しく楽しく(時々苦しみながら)働かせていただいております。
大学人間科学科二回生(〇六年卒)

◆高宮校舎での学生生活を思い返しますと、個性豊かな先生方、先輩、同級生、後輩の顔が生き生きと思ひ浮かびます。いろいろなものごとへの関心を持つ入口に立った場所だったと再確認しています。
短大国文科二回生(九六八年卒)

◆在学中、太宰府の郵便局でアルバイトをした時に、お世話になった局員の方が「筑女の学生さんも職員の方も何か違うんだよねえ!」(いい意味で)と言ってくれたことを浅田先生(筑女生の雰囲気)を読ん思い出しました。嬉し
短大国文科三回生(九七九年卒)

◆短大二年時。一奥の細道をたずねて一東北・北海道の旅。に参加しましたが、今でもとても楽しい思い出として心に残っております。「鉄道の旅」が好きになった発端です。
短大国文科三回生(九七九年卒)

◆「紫友」が居たがに学校の発展に驚き、昔をなつかしんでいます。
短大国文科十五回生(九八年卒)

◆自宅療養の母の介護の日々ですが、お便りを頂く度に、又この季節なんだなあと懐かしく思っているところです。会のご盛会をお祈り致しますと共に母校の発展を重ねてお祈り致します。
短大英文科十一回生(九七八年卒)

◆この四月筑紫女学園大学にも新一年生が入ってきました。つい一ヶ月前までは高校生だった皆さん。紫友会の会員になるんだなと思います。大切な
短大幼児教育学科三十回生(九九年卒)

◆中川先生学長、就任おめでとうござい
ます。仏教の講義懐かしいです。
短大幼児教育学科三十回生(九九年卒)

◆「こんにちは これぞ筑女魂!」の中で寄せられておりました様々な言葉をしっかりと胸に刻み励みとして闘病生活と向き合っていると思ひました。そして卒業生の一人として微力ながら母校の発展のため尽力を尽くして参ります。
短大幼児教育学科二十回生(九八年卒)

◆短大で教諭一種免許を取得し採用数の少ない時期は苦しましましたが、現在では特別支援学校で教職に就きました。また、二人の子育でも楽しんでます。
短大家政科三十四回生(二〇〇年卒)

◆月日の経つのは本当に早く感じる今日この頃です。学生の方々がのびのびで素敵女子で自慢できる学校であることを心からお祈り申し上げます。関係者の方々どうぞよろしくお祈り致します。
短大英文科十二回生(九八九年卒)

◆後輩たち、実りある授業を提供できる
よう私も頑張ります。
短大英文科十二回生(九八九年卒)





学園だより

学園ホームページ<http://www.chikushi.ac.jp>

進路支援班

旧来の進路支援課と実習支援課を統合し、『進路支援班(進路支援センター・実習支援センター)』といたしました。これは、求人ベースとした就職活動支援(保育系・福祉系含む)と専門職希望学生の各種実習支援・国家試験対策・教員採用試験対策を、統合的に支援することを狙いとしたものです。

実習支援センター

●教員免許状更新講習のご案内

幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員を対象とした講習を実施しています。詳細は、5月頃本学ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

●「ボランティア活動支援センター」が開設されました

学内では、2011年度から実習支援センターがボランティアの窓口となっていました。2018年6月からは「ボランティア活動支援センター」の名称で窓口になりました。関係部署と連携しながら引き続きボランティア活動の支援を行っていきます。地域の施設、企業、学校からのボランティア情報をボランティアメールとして配信し、参加希望者を受付、ボランティア派遣を行っています。国内災害復興支援プロジェクト、ネパール教育支援プロジェクトについても引き続き活動支援を行っていきます。

2017年度のボランティアの実績としては延べ684名参加しました。うち国内震災ボランティア参加119名(東日本3回活動・参加33名、熊本3回活動・参加47名、九州北部豪雨4回活動・参加39名)、ネパール被災地訪問2回・20名となっています。昨年7月の「平成30年西日本豪雨」については、7月に社会福祉協議会と募金活動を行い、11月には愛媛にて地域交流会のイベントにて食の提供を行いました。

今後も継続して活動していきますので、同窓生からの温かなご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。なお、ボランティア活動につきましては、本学ホームページに随時掲載し活動の報告をしていますので、どうぞご覧ください。



【お問い合わせ】ボランティア活動支援センター TEL092(925)9578
※お振込の前に上記問い合わせ先にご支援いただけるボランティア内容についてご確認ください。

臨床心理センターを開設しました

2018年10月、五条駅近くに「筑紫女学園大学臨床心理センター」を開設致しました。当センターは、家庭、学校、職場においての悩みをはじめとする一般的な心理相談や発達相談など、「こころの健康をサポートするための地域に開かれた相談施設」であるとともに、本学の臨床心理士・公認心理師を目指す大学院生が専門的知識・技術を身につけるための実習施設でもあります。11月には、開設を記念し、公開シンポジウムを開催致しました。

今後より一層、地域の関係機関と連携させていただきながら、臨床心理学を専門とする本学教員が責任をもって相談活動を行ってまいります。

【問い合わせ先】

筑紫女学園大学臨床心理センター

T E L : 092-555-4594

F A X : 092-555-4596

住 所 : 〒818-0125

太宰府市五条2丁目5番20号吉塚商事ビル1階

開室時間：月・水・金(祝日を除く)

(受付)10時～12時(開室)10時～18時

相談はすべて予約制です。まずは、電話でお問い合わせください。



橘 英哲 先生
平成30年8月
元高等学校 教諭
元短期大学 国文科 教授
元大学 日本語・日本文学科 名誉教授
元大学・短期大学 同意会 紫友会 顧問

福岡 欣一 先生
平成30年12月
元大学 英語学科 教授

大学
クラブ
訪問

MSG
(ミューチュアルサポートグループ)

この度は、紫友会の奨励金を頂き誠にありがとうございました。
私達MSGは、四年生七名、三年生七名、二年生六名、一年生十四名の計三十四名で活動しています。現在筑女には障がい学生が七名通っており、私達MSGはテイクという活動を通して支援を行っています。テイクとは、授業などで聴覚障がい学生や肢体不自由学生との横で授業内容を書き取ったり要点をまとめたりしてサポートすることです。
また、週に回の定例会を行い、テイクと障がい学生の情報交換をしておりま。

私達は今年度より他大学との交流を増やしてテイクという支援方法を今後広げていきたいと考えております。この支援活動を通して支援するだけではなく、互いに支え合いながら、私達自身もいろいろな事を学んでいます。私達は、テイクの技能をさらに向上させ、障がい学生によりよい支援が出来るよう努め、通いやすい大学を目ざします。また私達も、この経験を糧とし社会に飛び立てたいと思います。

社会福祉法人慈愛会 清心慈愛園
社会福祉士 庄島 美希
(人間科学部 人間科学科 心理社会福祉専攻
社会福祉コース同窓生
社会福祉コース三同窓)

児童養護施設は様々な事情で親と一緒に暮らせない子どもが生活する「家」のような場所です。私は社会福祉士としてその子ども達を支援しています。仕事内容は、生活支援を中心に、面会に来られる保護者とのつなぎ役、児童相談所をはじめとする関係機関との連携など多岐にわたります。
その中でもこの仕事の一番のやりがい、子ども達が成長しているというところを生活の場をもて感じられること

とです。「着替えが上手になった」「九九が言えるようになった」等小さなことでも喜びを共有できた時が、何より幸せな瞬間です。困難にぶつかってもありますが、粘り強く大人が関わる事で子どもは自分の力で新たな道を切り開いてくれます。
実は大学三年生時に、今の職場で社会福祉士実習をさせていただきました。その時の学びが今の仕事につながっていると思うと、筑女での四年間はとても有意義なものだったと感じています。まだまだ未熟ですが、より多くの子ども達の未来が明るいものになるように今後も仕事に励んでいきます。

庄島さんと清心慈愛園の皆さん

紫友会から在学生へ

「就職情報誌アヴニールavenir」贈呈

紫友会では、在学生への支援活動の一つとして、「就職情報誌avenir」を毎年発行し就職活動の始まる3年生を対象に贈呈しています。「avenir」は就職活動中の学生が採用試験を受けた体験を事細かく、分かり易く丁寧に報告し、それを最新情報として毎年冊子にまとめたものです。これまで多くの学生に活用されてきました。また、業種別採用試験の報告書や過去5年間の就職先一覧なども掲載されています。

なお今回、従来の冊子発行に加えて電子書籍化もされました。手軽に「筑女ネット」から閲覧できるため、ますます「avenir」が活用されやすくなりました。

2019(平成31)年度 前期 筑紫女学園大学 公開講座 (受講料無料)

“ともいき(共生)”～あらゆる存在とのつながりの中で生かされていることへの目覚め～

	講座名	講師等	日時		講座名	講師等	日時
体験講座	音楽と自然によるともいき～ガムラン・ワークショップと“筑女の森”自然観察～	田村史子(文学部教授) 田中一男(地域環境計画九州支社) サブトノ(インドネシア、ジャワ、スロバリト王族ガムラン班) 主催：アジア文化学科	① 4月21日(日) ② 7月21日(日) 10:00～15:30 (12:30～13:30休憩)	公開講座	第22回仏教文化講座「仏教文化の伝播と変遷」 ①浄土國の伝播と変遷 ②インドの神々と仏教 ③一角山人説話の変遷 ④経緯にみる平安時代の仏教信仰 ～東アジア三国の比較から～ ⑤私の“方便法身尊像”～日本の仏像より～	①中川正法(学長・人間科学部教授) ②小林久泰(文学部准教授) ③宇野野行(文学部教授) ④小林知美(文学部准教授)	① 6月 5日(水) ② 6月12日(水) ③ 6月19日(水) ④ 7月 3日(水)
	筑紫想い出力フェ 2019～地域回想法による「ともいき」の実践～ ①「回想法の現状と課題(仮)」 ②「高齢者の回想法(仮)」	①ビザッザ桜台職員 ②古村美津代(久留米大学医学部看護学科准教授) 主催：博物館学芸員課程委員会	① 5月14日(火) ② 5月28日(火) 14:50～16:20		今を生きる子どもたちについて考える～不登校セミナー～	長阿端 幹生(教育文化研究所代表) 大西 良(人間科学部准教授)	① 6月 8日(土) ② 6月22日(土) 10:00～12:00
公開講座	発達障害者の自立に向けて	酒井 均(人間科学部教授) 主催：筑紫女学園大学臨床心理センター	6月1日(土) 10:00～12:00		文学と南(7)「近現代詩と南」 ①北原白秋の世界 ②立原道造の世界 ③鮎川信夫の世界	コーディネーター：松下博文(文学部教授) ①松下博文(文学部教授) ②渡辺玄英(詩人) ③渡辺玄英(詩人)	① 9月14日(土) ② 9月21日(土) ③ 9月28日(土) 14:00～16:30

筑紫女学園大学 生涯学習センター
筑紫女学園大学ホームページ>>><https://www.chikushi-u.ac.jp/>
お申込み・お問合せ 〒818-0192 福岡県太宰府市石坂2丁目12-1
TEL : (092)925-9685 FAX : (092)925-9683
E-mail : gakushu@chikushi-u.ac.jp

お申込み方法

ハガキ・FAX・Eメールまたは本学ホームページにて
*お申し込みの際は、①受講希望講座名 ②氏名(フリガナ) ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号・FAX番号をご記入ください。
*定員に達した場合は、締切りとなりますのでご了承下さい。
*お預かりした個人情報等は適切に管理し、公開講座運営以外に使用することはありません。

